

練馬区高齢者基礎調査 報告書

平成 23 年（2011 年）3 月

練馬区

はじめに

練馬区の総人口は、平成23年1月現在、約71万人であり、このうち65歳以上の高齢者人口は約13万7千人、高齢化率は19.3%となっております。今後、団塊の世代が高齢期を迎えるに伴い、高齢化率は平成25年には20%に達し、区民の5人に1人が高齢者になると予測しております。また、介護保険の要支援・要介護認定者や認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者をはじめ、様々な理由により社会的支援を必要とする高齢者の一層の増加も予測されております。

区では、こうした急速に進行する高齢社会に対応し、高齢者が安全・安心で、いきいきと暮らせる地域社会を実現するため、区が目指すべき基本的な目標を定め、その実現に向けて取り組むべき施策を明らかにすることを目的に、平成21年3月、第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成21～23年度）を策定し、高齢者保健福祉施策を展開してきております。

一方、平成12年4月から導入された介護保険制度は10年以上が経過し、制度の普及とともに、サービス利用者が増加しております。国では、持続可能な介護保険制度の運営を図り、介護サービスの基盤を強化するため、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取組みを進める方針を示しております。

こうした状況を踏まえ、区では、平成24年度から26年度を計画期間とする、第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に着手いたしました。この高齢者基礎調査は、計画策定の基礎資料とするため、高齢者の方やこれから高齢期を迎える方の生活実態やご意見・ご意向、介護サービス事業者の事業展開や介護保険制度に対するご意見などをお伺いしております。また、今回は、これらの調査に加え、特別養護老人ホームの入所待機者の生活実態や今後の入所待機の意向などを調査するとともに、より効果的な介護予防事業の展開に役立てるために、日常生活圏域ニーズ調査を実施しております。この調査結果を十分に分析・活用した上で、今後の状況変化を見通した計画を策定し、高齢者が暮らしやすい区政運営に努めてまいります。

最後になりましたが、本調査にあたり、回答をお寄せいただいた区民の皆様、介護サービス事業者の皆様に心から御礼申し上げます。

平成23年3月

練馬区長 志村 豊志郎

目 次

I 調査の概要	1
1 調査目的	3
2 調査方法	4
3 調査対象	5
4 調査期間	6
5 回収状況	6
6 報告書の構成等	7
(1) 報告書の構成	7
(2) 数値等の表記方法	7
(3) 用語の定義について	8
II 調査結果	9
1. 回答者属性	11
(1) 性別	11
(2) 年齢	12
(3) 世帯構成	13
(4) 年収（本人＋配偶者）	14
(5) 収入源	15
(6) 今後力を入れて欲しい高齢者施策	16
2. 日常生活の状況	19
(1) 日常生活での自立状況	19
(2) 病気や障害と自立の状況	20
(3) 外出時の状況	21
(4) 将来（現在）の生活における不安や悩み事	22
(5) 健康や保健福祉に関する情報源	23
3. 社会参加	24
(1) 地域活動への参加の状況・きっかけ	24
(2) 就労状況	27
(3) 就労意向・形態	28
(4) これから高齢期を迎える方の地域との関わり	31

(5) 生きがい	33
(6) 高齢者センター・敬老館・敬老室の利用状況	34
(7) パソコン・携帯電話の利用状況	35
4. 健康・医療（介護と医療の連携）	37
(1) 健康診査の受診状況	37
(2) 保健指導の内容	38
(3) 健康診査を受けていない理由	39
(4) 通院・往診等の頻度	40
(5) 在宅医療の内容	41
(6) かかりつけ医の有無	42
(7) 寝たきりや認知症の予防・改善のための取り組み	43
5. 介護予防事業等	44
(1) 介護予防の取り組み意識	44
(2) 介護予防事業の利用意向	45
(3) 生活機能評価の受診状況	46
(4) 介護予防事業の利用状況	46
(5) 介護予防事業の利用のきっかけ・利用後の変化	47
(6) 介護予防事業未利用理由	48
6. 高齢者相談センター（地域包括支援センター）	49
(1) 高齢者相談センターの認知度	49
(2) 虐待に関する相談相手	50
(3) 介護保険サービスの苦情・相談先	51
7. 認知症	52
(1) 認知症に対するイメージ	52
8. 高齢期の住まい	55
(1) 住居形態	55
(2) 高齢期を過ごすための住まいの工夫	57
(3) 住まいの改修意向	59
(4) 住み替える場合に重視する点	60
(5) 定住・住み替え意向	62
(6) 日常生活圏域別定住・住み替え意向	64
9. 介護保険施設および地域密着型サービスの拠点の整備	65
(1) 施設等の申込み状況	65
(2) 施設等の申込み理由	66
(3) 施設等の入所を希望しない理由	68

10. 高齢者の見守り	70
(1) 見守りに対する意向	70
(2) 平日昼間の在宅状況	72
(3) 緊急時に連絡できる家族等との距離・会う頻度	73
(4) 外出・会話の頻度	74
11. 介護保険サービスの利用状況	75
(1) 要介護認定の状況	75
(2) 介護保険サービスの利用状況と今後の利用意向	76
(3) 要介護度の変化	78
(4) 介護保険サービス利用の効果	80
(5) ケアプランの理解等	81
(6) 希望する介護	82
(7) 介護保険料の負担感	83
(8) 介護保険サービスの苦情・相談先（再掲）	86
(9) 介護保険料とサービスの関係（介護保険制度に対する考え方）	87
12. 家族介護者の状況	88
(1) 家族介護者の有無	88
(2) 家族介護者の人数	88
(3) 主たる家族介護者の属性	89
(4) 家族介護者からみた本人の様子（家族介護者が回答）	91
(5) 介護経験の有無	92
(6) 介護年数（家族介護者が回答）	93
(7) 家族介護の負担や困り事（家族介護者が回答）	94
(8) 介護しているときに高齢者にあたってしまった経験	96
(9) 介護をされていてつらい時の相談先（家族介護者が回答）	97
(10) 家族介護者が将来希望する自身の介護（家族介護者が回答）	98
13. 特別養護老人ホーム入所待機者調査	99
(1) 現在の生活の場	99
(2) 本人・家族の状況	99
(3) 入所待機者の身体的状況	101
(4) 特別養護老人ホーム以外の入所の申込み状況	102
(5) 希望する特別養護老人ホームのタイプ	103
(6) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由	104
(7) 特別養護老人ホームの費用負担	105
(8) 最初に特別養護老人ホームの申込みをした時期	107
(9) サービス等の充実による在宅生活の希望	107
(10) 在宅生活を続けるために必要なこと	108

14. 日常生活圏域ニーズ調査	110
(1) 運動機能	111
(2) 閉じこもり予防	112
(3) 転倒リスク	113
(4) 栄養	114
(5) 口腔機能	115
(6) 認知機能	116
(7) 認知機能障害程度（CPS）	117
(8) うつ予防	118
15. 介護サービス事業所調査	119
(1) 提供中のサービス	119
(2) 地域密着型サービスの整備	120
(3) 小規模多機能型居宅介護の必要性・課題	121
(4) 夜間対応型訪問介護の必要性・課題	123
(5) 高齢者相談センターとの連携	124
(6) 居宅介護支援事業所の運営上の課題	125
(7) 職種別職員の状況	126
(8) ケアプランの作成件数	128
(9) 施設・居住系サービスの提供状況	129
(10) ターミナルケアの対応	130
(11) 苦情対応・内容	131
(12) 第三者評価の受審状況	132
(13) サービスの質の向上の取り組み	132
(14) 事故防止の取り組み	133
(15) 地域との関わり	134
(16) 要医療等に対する対応・在宅生活を継続するための条件	135
(17) 医療機関との連携	136
(18) 事業運営上の課題	137
(19) 人材確保	138
(20) 人材育成	139
(21) 従業員の早期離職防止や定着促進策	140
(22) 介護報酬改定に伴う対応	141
(23) 介護職員処遇改善交付金の活用策	143
(24) キャリアパスの作成状況・予定	145

Ⅲ 集計結果.....	147
1. 高齢者一般調査.....	149
2. これから高齢期を迎える方の調査.....	165
3. 介護サービス利用者および未利用者調査.....	184
4. 特別養護老人ホーム入所待機者調査.....	205
5. 日常生活圏域ニーズ調査.....	217
6. 介護サービス事業所調査.....	235

